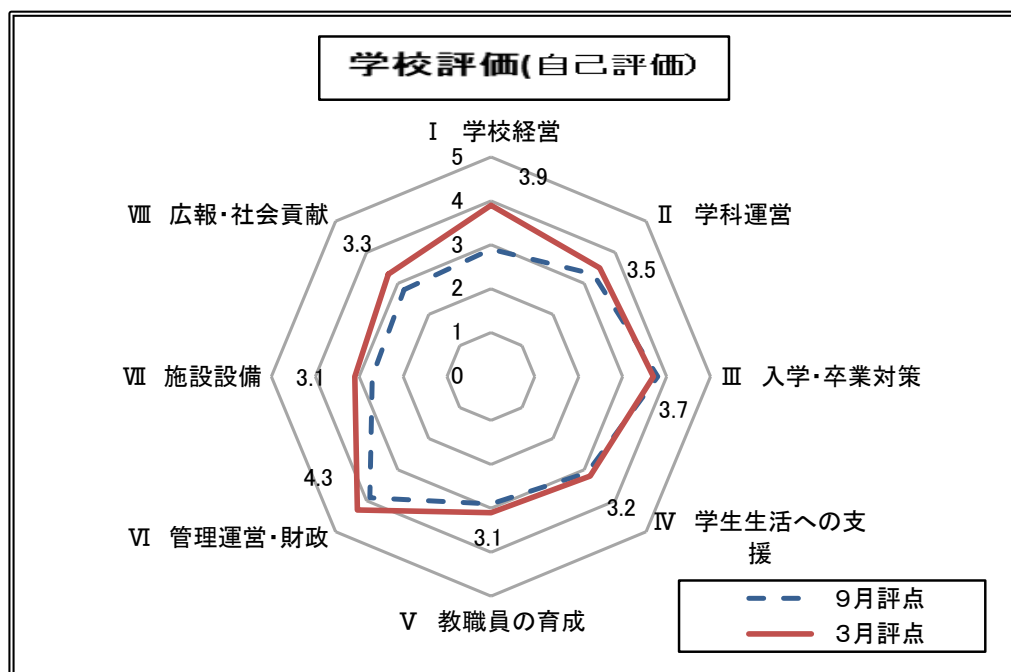


## 令和元年度 学校評価結果

本校は教育の質の向上とより良い学校運営をめざして、教員による「学校評価」を実施しています。今年度は評価項目を見直し、8領域41項目について、9月、3月に5段階評価（良い「5点」、やや良い「4点」、普通「3点」、やや不十分「2点」、不十分「1点」）を行い、カテゴリーごとの平均点を表しました。



### 結果

全体の平均点は、3.5点(前回3.2点)やや向上しており、すべてのカテゴリーが普通以上です。

【I 学校運営】組織目標・年間運営計画に基づく委員会・係活動を中間評価し、課題達成に向けて取り組みました。今後は、中期目標・中期計画に基づく運営と学校評価の課題への取り組みを進めます。

【II 学科運営】実習評価基準の見直しや実習要領の作成により、実習の質向上に取り組みました。また、授業評価(学生・教員)内容・方法の変更と共に、評価結果をシラバスの見直しや実習施設との調整に活用しました。今後は、卒業生調査、卒業時調査等の分析結果をもとに、本校の教育課程・教育活動の課題を明らかにしてカリキュラムの再構築に取り組めます。

【III 入学・卒業生対策】入学生確保のための広報活動を継続しました。就業促進・就業定着支援として、在校生や卒業生対象の「卒業生と語る会」や「卒業生交流会」を実施しました。

【IV 学生生活への支援】心理面や生活面の支援として、カウンセラーや教員による個別相談を継続しています。また、高等教育無償化制度をはじめとする修学支援の情報提供を適時におこないました。

【V 教職員の育成】教育実践能力の向上に向けて、キャリア段階に応じた計画的な研修参加と報告会を開催しました。授業研究では、授業参観による「看護過程」の授業改善に取り組み、講義・実習の指導方法を見直しました。

【VI 管理運営・財政】災害時の危機管理として、備蓄品の管理、寄宿舎入寮生の避難訓練、防災講話、学生による学習会等に取り組みました。学生生活実態調査、寄宿舎入寮生調査の意見をもとに、指導方法の見直しや環境改善に取り組みました。

【VII 施設設備】校舎の老朽化は随時補修しています。今後も計画的な設備改修に取り組めます。

【VIII 広報・社会貢献・地域活動】市内小学校での出前授業、区の災害時避難所として協定締結と訓練の実施、学生による地域のボランティア活動に取り組みました。